

令和4年度

北島南小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 豊かに表現し、学び合う授業づくり
- 保護者との連携による家庭学習の充実

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員 校長	教頭	校長
	研修主任	教務主任	
	1学年主任	2学年主任	
	3学年主任	5学年主任	
	6学年主任	特別支援コーディネーター	

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いていたり、与えられた課題にも真面目に取り組めたりできる児童が多い。 ●学級内に学力の差が見られ、定着していない児童もいる。	・基礎的・基本的な知識・技能を、できるだけ多くの児童が身に付けることができる。 ・身に付けた知識・技能を用いて応用力を高めたり、他の学習や生活の場面において活用することができる。	・朝のドリルタイムでは、基礎・基本、スキルアップタイムでは、応用力の習得を図れるよう、時間を十分に確保する。 ・授業の初めには、復習・振り返りを取り入れた授業づくりを行う。 ・応用力の習得を図るために、多様な問題に取り組ませる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○少人数の中で、自分の考えを伝えたり、事前に準備できる課題では、自己表現できる児童が多い。 ●自分の思いや考えを根拠や理由を挙げながら表現することに課題がある。	・学年の発達段階に合わせ、目的に応じて、根拠や理由を明らかにした自分の考えを伝えることができる。	・話し合いを広げたり深めたりできるように、北島南小「授業のスタンダード」を継続して効果的に使う。 ・ICTを有効に使い、思考ツールなどを使って、考えを共有しあう場面を多く作る。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○朝の読書、宿題など決められた課題には、真面目に取り組む児童が多い。 ●家庭での読書、自主学習などの自分から課題を見つけて選択して取り組むことには、差が見られる。	・学び方を習得し、自分に必要な学習を選択して、進んで家庭での学習や読書に取り組むことができる。	・学年の発達段階に応じた自主学習のヒントを提示したり、よりよい学習の仕方を繰り返し指導したりして、意欲向上につなげる。 ・毎月23日の家庭読書の日を児童が楽しみにできるよう工夫し、家庭での読書活動を充実させる。			

令和4年度 学力向上ロードマップ



